



後期医療撤廃求めPR

若松で地区連合など

会津若松地区連合会と会津若松地区労働福祉協議会は二十六日、同市の神明通りで「ストップノザ・格差社会、後期高齢者医療制度



の撤廃を求める街頭集会を開いた。写真。

連合、労福協加盟団体などから約二百二十人が参加

した。小林竜二会津連合議長が地方間と暮らしの格差の現状を唱えながら早期の是正施策と後期高齢者制度の撤廃を訴えた。民主、社民両党の関係者らが激励演説。参加者は道行く市民に政策転換を訴えるポケットティッシュとチラシなどを配布し、アピールした。